

# 平成20年度 事業報告書

## 1 組織強化活動

### (1) 全戸会員制の推進

社会福祉事業の組織的活動の促進と地域福祉の増進を図るため、社協の全戸会員制を推進し、各自治会の協力のもとに8, 238戸の加入実績となった。

### (2) 高額寄付者に対する感謝状の贈呈

社会福祉事業に10万円以上の金品を寄付された32件（寄付者）に、感謝状を贈呈した。

### (3) 研修会等への参加

- 上川地区社協会長事務局長会議 (20年5月19日 旭川市1名)
- 全道社協会長事務局長研究協議会 (20年6月12日～13日 札幌市2名)
- 地域に理解され支持される社協役員研修会 (20年7月25日 旭川市10名)
- 道北地区社協職員自主研修会 (20年8月22日～23日 士別市10名)
- 地域に理解され支持される社協監事研修会 (20年8月28日 旭川市2名)
- 経理・事務担当者研修会 (20年9月17日～18日 札幌市1名)
- 市社協事務局長連絡協議会 (20年9月19日 札幌市1名)
- 孤独死ゼロをめざすシンポジウム (20年11月4日 旭川市2名)
- 上川支庁管内社協職員研修会 (20年11月18日～19日 南富良野3名)
- 地域に理解され支持される社協研修会 (20年12月2日 旭川市3名)
- 士別市民生委員児童委員研修会 (21年1月19日～20日 層雲峡2名)
- 法人役員専門研修 (21年1月20日 札幌市3名)
- 上川北部地区社協職員連絡協議会研修 (21年3月13日 名寄市3名)
- 上川地区社協会長事務局長会議 (21年3月17日 旭川市2名)

## 2 広報活動

### (1) 社協だよりの発行

全戸配布する「社協だより」は、本年度第138～第143号6回を発行し、各種福祉サービス、ボランティア活動及び住民の福祉活動など幅広い情報の提供と参加呼びかけに努めた。

### (2) 情報提供

ホームページによる福祉サービスの情報提供、また市内報道機関・行政の協力による広報活動を行った。

### 3 ボランティア活動

#### (1) 研修会への参加

日 程 10月18日(土)～19日(日)  
会 場 苫小牧市  
内 容 ボランティア愛ランド北海道2008 in 胆振・とまこまい  
参加者 7名

#### (2) 第30回住民福祉活動を進めるつどい

日 程 9月20日(土) 13:00～16:30  
会 場 士別市民文化センター 小ホール  
内 容 今回は、30回記念事業として位置づけ、実行委員会を立ち上げて取り組み、「はだしのゲン」や「春男の翔んだ空」等の福祉映画を作製している山田火砂子監督を講師に招き、昨年公開した「筆子その愛ー天使のピアノ」の上映と講演会を行った。  
・講演会 「映像で語る福祉の心ー無償の愛にふれてー」  
・映画会 「筆子・その愛ー天使のピアノ」  
日本で初の知的障がい者施設「滝乃川学園」の創設者・石井亮一の妻である石井筆子の生涯を映像化した作品  
参加者 163名

#### (3) 第25回しべつ青年ボランティアスクール

日 程 9月28日 9:30～15:30  
会 場 士別市つくも青少年の家  
内 容 「アダプテッドスポーツ考案」と題して、参加者がアイデアを競い、障がいがあってもなくても、同じ条件、同じ目線で楽しめるスポーツを考案しながら、みんなが一緒に楽しみながら暮らせる生活について研修した。  
また、今回は上川北部ボラネットスキルアップ事業と合同で開催し、上川北部のボランティアさんとの交流も図った。  
・講演「アダプテッドスポーツって何？」  
講師 車椅子ラグビー北海道ビッグディッパーズ 矢島勇作氏  
障がい者スポーツ中級指導員 坂本洋子氏  
参加者 50名

#### (4) 平成20年度士別市福祉教育懇談会

日 程 10月24日(金) 13:00～16:00  
会 場 士別南中学校  
内 容 市内各学校の教職員及び教育・福祉関係者に呼びかけ、互いの実践と情報を交換し交流する中で、福祉教育の啓発と促進を図ることを

目的として開催した。

- ・研修Ⅰ 公開授業 士別南中学校1年生82名を対象  
ドキュメントボランティア「いのち輝いてますか・・・」

講師 北海道まちづくりボランティア会議代表  
藤井英規氏

- ・研修Ⅱ シンポジウム

「出会い 感動 成長」

～旭山動物園障がい者と家族夜間特別観賞会～

シンポジスト

藤井英規氏 北海道まちづくりボランティア会議代表

富田 彰氏 北海道社会福祉協議会

ボランティア長寿課長

富樫史江氏 北海道士別東高等学校教諭

参加者 教職員、福祉関係者 41名

#### (5)平成20年度中学生・高校生ワークキャンプ

日程 11月 8日(土)～ 9日(日)

会場 士別市つくも青少年の家

内容 障がいをもって生活している方々や、ボランティア活動に取り組んでいる方々とのふれあいの中から、生きることの尊さや支えあう心の大切さを学び、ボランティア活動に取り組むきっかけの場となることを目的として開催した。

テーマ 「ぼくらにできるボランティア」

ーユニバーサルデザインから考えるー

- ・講話 ユニバーサルデザインについて
- ・講話 障がい者スポーツと支援について
- ・体験 アダプテッドスポーツ

(車椅子ラグビー、ゴールボール)

アダプテッドスポーツ考案

講師 車椅子ラグビー北海道ビッグディッパーズ 矢島勇作氏

障がい者スポーツ中級指導員 坂本洋子氏

ボランティアセンター運営委員

参加者 31名

#### (6)第18回士別市小学生ボランティアスクール

日程 11月15日(土) 9:30～11:30

会場 サポートセンターしべつ

内容 市内で活動しているボランティアさんから、活動の目的や内容についてお聞きし、体験・交流する中で自分たちにできるボランティアについて研修した。

- ・絵本の読み聞かせ（しべつ鳩の会協力）
- ・手話（士別手話サークル協力）
- ・収集活動（収集活動サークルひまわり協力）

参加者 21名

#### (7) 第18回士別市中学生ボランティアスクール

日 程 1月18日（日）12：30～17：30

会 場 サポートセンターしべつ、旭川市障害者福祉センター「おびった」

内 容 今回は、車椅子ラグビー北海道ビッグディッパーズの練習に参加し、選手から障がい者スポーツについて学習し、車椅子ラグビーを体験した。

参加者 24名

#### (8) 第26回士別市高校生ボランティアスクール

日 程 1月31日（土）10：00～12：00

会 場 サポートセンターしべつ

内 容 中学生の時よりボランティア活動に参加し、現在旭川明成高校で「豊かな福祉観の育成」をめざし、福祉教育の推進・ボランティア学習に取り組んでいる渡邊建司教諭を招き、自身のボランティア体験から「ボランティア活動の魅力」について講演いただき、翔雲高校、東高校の情報交換・交流を行った。

参加者 23名

#### (9) 第29回士別市女性ボランティア活動研修会

日 程 3月23日（月）18：30～20：00

会 場 士別市民文化センター

内 容 「地域の福祉力を高めるために」－士別再発見、再発信－をテーマに、地域で継続して取り組んでいる活動と、パーキングパーミット（身障者用駐車場利用交付証）制度を紹介し、地域福祉について研修した。

また今回は、ボランティア団体研修会と同時開催した。

事例報告

- ・中央公民館下士別分館「土曜日の学校開放異世代事業」
- ・朝日地区「ふれあい昼食会」

参加者 60名

#### (10) ボランティア団体研修会

日 程 3月23日（月）18：30～20：00

会 場 士別市民文化センター

内 容 第29回士別市女性ボランティア活動研修会と同様

### (11) 福祉・ボランティア団体助成

福祉団体、ボランティア団体の活動を援助するため、20団体に総額88万円を助成した。

### (12) 学童生徒のボランティア活動普及事業

本事業は、学童生徒の社会福祉への理解と関心を深め、ボランティア精神を養うことを目的として、市内全校（小学校11校、中学校6校、高等学校2校）に対し、活動の助長を図るべく、生徒数20人以上の学校は年間5万円、20人未満の学校は年間3万円の助成をした。

### (13) 士別市ボランティアセンターの運営

本市のボランティア活動を推進するため、18名の運営委員のもと各種ボランティアスクール、ワークキャンプ、住民福祉活動を進めるつどい等の企画運営や、ボランティアセンターだよりの発行等に取り組んだ。

○運営委員会 委員18名 委員会12回（第2月曜日）開催

○個人登録ボランティア 64名（平成21年3月31日現在）

○ボランティアセンターだよりの発行 3回

○社協だより掲示板への掲載 6回

○ボランティア指定校担当者会議の開催 2回

○自主研修会の実施

10月24日（金） ボランティアとは？（原点に立ち返る）

○土曜ボランティア学習塾の開催

（ボランティア体験学習や情報交換を継続的に実施）

塾登録者 27名（中学生2名、高校生25名）

塾開催日 毎月第2土曜日（10回開催）

開催内容 ふれあい広場（学童生徒コーナー）企画運営

アダプテッドスポーツ体験、障がい者との交流等

○物品払い出し関係

（預託）

使用済み切手 199件 163,247枚

使用済みカード 90件 2,705枚

エコキャップ 142件

その他 186件（書き損じハガキ・缶ジュース・布オムツ他）

（払出）

使用済み切手 143,402枚（誕生日ありがとう運動本部）

使用済みカード 2,697枚（ジョイセフ）

エコキャップ 送付累計166,896個（20年4月～21年4月6日現在）

（ワクチン208.6人分）

その他 36件（書き損じハガキ・缶ジュース・布オムツ他）

#### (14) 声の図書活動

##### ○声の図書貸出事業

本事業は、小説、市の広報誌等を、士別声の図書会の朗読ボランティアが録音し、貸し出すものであり、出来上がった録音テープは現在 1,512編 10,216本となり、本年度の貸し出しは延 59件 180編 1,047本であった。

・利用者 視力障がい者他 6名

### 4 在宅福祉サービス活動

#### (1) 小地域ネットワーク活動推進事業

在宅福祉活動がより一層地域に定着していくことを願って平成2年度から単位自治会を対象とした「在宅福祉サービス実践地区指定事業」を行ってきたが、平成14年度より「小地域ネットワーク活動推進事業」として改め、各自治会とタイアップした地域福祉の推進をめざし、本年度は20自治会に対し、1自治会30,000円の助成を行った。

### 5 互助共励活動

#### (1) 無縁仏供養

日程 8月20日

会場 しべつ霊園「無縁の碑」

無縁者の霊を慰めるため、昭和60年士別市が建立した「無縁の碑」において、市関係者の参列のもと供養した。

#### (2) 歳末たすけあい募金運動（20年12月1日～30日）

本募金運動は、北海道共同募金会士別市支会と共催で行い、本年度は55件1,806,177円の浄財が寄せられた。この運動には、各報道機関をはじめ多くの市民の協力を得たところであるが、特に、催し物による募金活動にご貢献いただいた。

ボランティアサークルむぎの会主催による「歳末チャリティーふれあい演芸会」益金548,930円と、しべつふれあいの会主催「歳末チャリティーカラオケ選手権大会」益金378,650円の募金合計は、927,580円となり実績の51%となる。

#### (3) 「ふれあい募金箱」運動

昭和58年より、歳末たすけあい募金運動の通年化と市民の善意の助長を図るため、しべつふれあいの会の協力のもと「ふれあい募金箱」を設置しており、その総額が98,568円となり全額趣旨に添って「歳末たすけあい募金」として寄贈した。

募金箱設置事業所 市内39ヶ所

#### (4) 歳末たすけあい慰問事業 (20年12月)

民生委員・市保健福祉部の協力により対象者を調査し、歳末慰問金を配布した。

対象者 292名 慰問金 1,554,000円

#### (5) ふれあい広場'08INしべつPART25

日程 7月5日(土)～6日(日)

会場 士別市総合体育館

テーマ 「で愛 ふれ愛 かたり愛」～ふれあいの心 つばさにのせて～

実施主体 福祉・ボランティア団体・各学校並びに市民有志で構成された、210名の「ふれあい広場'08INしべつPART25実行委員会」が、企画から当日の運営にあたった。

内容 ・語らいコーナー…語らいサロン、血圧測定、健康相談(市立病院医師派遣)

・体験の広場…点字教室、盲導犬体験・講話、収集ボランティア活動体験、障がい者スポーツ交流(車イスラグビー等)等

・ステージ企画…ふれあいコンサート等

・ふれあいの店…障がい者関係作品展示即売、バザー

・ボランティア障がい者福祉展

…ボランティアコーナー、特別支援教育作品展

・学童生徒ボランティア活動展

…各学校のボランティア活動時のパネル写真展・学童生徒企画コーナー(駄菓子屋、射的等)

・福祉標語

応募点数 265名 277点

最優秀作品 「あいさつは心をつなぐ合い言葉」

・ふれあいの夕べ…会券販売数 713枚

会議 実行委員会2回含め 23回開催

入場者 2日間 約 3,000名

協力者 2日間 500名(実行委員を除く)

ガイドヘルプ活動

ガイドヘルプ委員会を設け、自力で移動の困難な方に対してのガイドヘルプ活動を行い、2日間で15名が参加してくれた。

今回は、25周年記念事業として位置づけ、25年のあゆみを映像にし会場で放映した。また、折り鶴に関しては、当初の目的であった25,000羽を上回り、30,000羽からの折り鶴が市民、市外の方からも寄せられた。



## (6) 生活福祉資金貸付事務（年間）

## (7) 特別生活資金貸付事務（12月1日～2月29日）

低所得者や高齢者、障がい者のいる世帯等の生活自立を支援するため北海道社会福祉協議会が主体となり、市町村社協が受付窓口となっている事業で、両事業とも本年度の貸付はなかった。

生活福祉資金貸付事業研修会 7月24日 旭川市 1名参加

## (8) 士別市心配ごと相談所運営

近年、市民の悩みごとや心配ごと等、相談内容の多様化が目立っており、適切な助言社会資源の紹介活用等を行った。

相談所

常設相談所…社協事務局内に置き、相談員が随時相談を受けている。

地域相談所…58名の相談員（民生委員）宅とし随時相談を受けている。

相談件数 年間212件

解決…76件・再来…15件・民生委員…27件・他機関…55件・その他…39件

## (9) 老人安全杖贈呈事業

おおむね70歳以上の高齢者に対し、申し出により安全杖を無料で贈呈しているが、本年度は、231本の利用があった。

## (10) 被災見舞い

2月12日に住宅火災で全焼した世帯に対して、2万円の見舞金を贈った。

# 6 朝日地域福祉圏事業

## (1) ふれあい昼食会

町内の70歳以上で独居及び75歳以上のご夫婦世帯を対象に昼食会を月1回開催し、ボランティアを含め延べ533名の参加があった。

## (2) 第41回福祉運動会

日程 10月17日（金）

会場 トレーニングセンター

参加者 161名

（65歳以上の住民 107名、ボランティア 54名）

## (3) ボランティア支援事業

○よって館運営支援

○子育てサロン運営支援

○知恵の蔵運営委員会支援

○広報紙「ぼらんていあネットワーク」を年7回発行した。



#### (4) 助成事業

心身障がい児の療育施設通所に対し交通費の一部を助成した。

- ・ 士別市こども通園センターのぞみ園通園者 4 世帯（24回）に対し  
総額 20,880円
- ・ 旭川市療育施設通園者 2 世帯（12回）に対し  
総額 22,920円
- ・ 名寄市立総合病院リハビリ通院者 1 世帯（9回）に対し  
総額 11,790円

#### 7 士別市総合福祉センター指定管理運営事業

#### 8 士別市多世代スポーツ交流館指定管理運営事業

#### 9 サポートセンターしべつ受託事業

#### 10 士別市施設入浴サービス受託事業

#### 11 士別市移送サービス受託事業

#### 12 士別市在宅介護支援センター運営受託事業

#### 13 福祉パトロール受託事業

#### 14 士別市生きがいデイサービス受託事業

#### 15 介護保険制度に係わる事業者指定

##### (1) 居宅支援事業所（ケアプラン作成機関）

士別市社協居宅介護支援事業所 平成12年4月1日(指定)

##### (2) 居宅サービス事業所（サービス提供機関）

士別市社協ヘルパーステーション 平成12年4月1日(指定)

士別市社協訪問入浴事業所 平成12年4月1日(指定)

#### 16 障害者自立支援法に係わる事業者指定

##### (1) 居宅支援事業所（身体・知的・児童・精神）

士別市社協ヘルパーステーション 平成18年4月1日(指定)

## 17 介護保険関係研修会への参加

- ・士別市社協運転業務自主研修会 (20年4月12日 士別市 9名)
- ・全道ホームヘルプサービス研究大会 (20年6月24～25日 札幌市 2名)
- ・平成20年度難病患者等ホームヘルパー養成研修会 (20年9月9日 名寄市 2名)
- ・地域ケアサービス事業者技術養成講習会 (20年10月24日 名寄市 2名)
- ・孤立死ゼロをめざすシンポジウム (20年11月4日 札幌市 2名)
- ・上川管内社連協職員研修会 (20年11月18～19日 南富良野町 3名)
- ・福祉のまちづくり全道会議 (20年11月20～21日 札幌市 1名)
- ・士別市社協介護職員等自主研修会 (20年11月21日 士別市17名)
- ・介護保険施設等集団指導 (20年11月25日、27日 旭川市 2名)
- ・平成20年度認定調査員現任研修会 (21年2月4日 士別市 6名)
- ・平成20年度ケアマネ研究交流会 (21年2月28日 札幌市 1名)
- ・平成20年度総合相談権利擁護セミナー (21年3月1日 札幌市 1名)
- ・平成20年度ホームヘルプサービス事業経営セミナー (21年3月10日 札幌市 1名)
- ・介護報酬改定に伴う事業所説明 (21年3月24日 旭川市 1名)

## 18 平成20年度 強化事業

### (1) 支部活動の推進

中央支部が主体となり、各支部に呼びかけ災害時に求められる地域の役割・機能について、2回の研修会を開催し情報の共有化を図った。

- ・日程 5月27日(火) 18:30～20:00  
会場 士別市民文化センター  
内容 講演 「災害の視点から福祉のまちづくりを考える」  
講師 トヨタボランティアセンタープロフェッショナルパートナー 鈴木盈宏氏  
参加者 33名
- ・日程 11月4日(火) 13:30～15:00  
会場 サポートセンターしべつ  
内容 講話 「士別市における防災の考え方」  
「士別市防災マップの見方」  
講師 士別市総務部総務課長 出合孝司氏  
参加者 30名

### (2) 役職員研修

北海道社会福祉協議会主催の研修会に参加した。

- ・地域に理解され支持される社協役員研修会 (20年7月25日 旭川市10名)
- ・地域に理解され支持される社協監事研修会 (20年8月28日 旭川市 2名)
- ・法人役員専門研修会 (21年1月20日 札幌市 3名)

### (3) 苦情解決への対応強化

苦情解決第三者委員会を開催、民生委員協議会のご協力をいただき第三者委員6名（中央2名・上士別1名・多寄1名・温根別1名・朝日1名）を委嘱した。

本年度は、6件の苦情（いずれも解決済）があったことを報告した。

### (4) ホームページの開設

6月1日、士別市社会福祉協議会ホームページを開設し、以後更新を重ね福祉情報の提供に努めた。

### (5) 新士別市地域福祉実践計画の策定

新士別市地域福祉実践計画策定委員会を立ち上げ、市民アンケートを基に「みんなでふれあい 支え合う つなごう地域の力」を基本目標とした「新士別市地域福祉実践計画」を策定した。

## 19 その他

社協監事による監査	4回	8月26日・12月8日・3月18日・5月15日
社協正副会長会議	4回	5月14日・5月29日・2月9日・3月16日
社協理事会	2回	5月23日・3月23日
社協評議員会	2回	5月29日・3月30日
各種会合	23回	